

保護者等向け 放課後等デイサービス評価表		冬木分 (12/13家庭)			事業所のコメント		
チェック項目		はい	どちらともいえない	いいえ	ご意見	説明	改善点など
環境・体制整備	① 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	11	1	0	はい：外で遊ぶことも多く、体を動かす工夫がされている。	3月までは、28名の様々な障害・年齢の子どもがワンフロアで過ごしていて、狭かったが、分離をして13人になり、十分なスペースが確保された。	
	② 職員の配置数や専門性は適切であるか	4	7	1	どちら：週3日ではなくもう少し利用したい。時間帯や土曜日の受け入れなど。 どちら：専門性の判断基準がわからない。	土曜日は希望が集中し、先着順で受け付け待機者が出る状況。同法人内の施設にPTやOT・ST等の専門家を配置しているため、「専門性」を問われたときに、保護者にはそのイメージがあったそう。	土曜日は、引き続きボランティアを募集し、希望者をできるだけ受け入れたい。保護者会で聞いたところ、「設問が分かりにくい。普段の支援者の専門性が低いと思っているわけではない」とのこと。
	③ 事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	11	1	0	どちら：バリアフリー化はされているが、快適に利用できているかの基準で言えば改良が必要だと思います。	車椅子の段差等は少なく、身体障害の面ではバリアフリーに配慮しているが、知的障害・発達障害の子どもに対する配慮が行き届いていない。	具体的な改善点を上げてもらって、配慮していきたい。設備面ではなく、教材・玩具、備品の配置の仕方に専門家からの助言を聞いて、改善したい。
適切な支援の提供	④ 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画が作成されているか	10	2	0		「客観的」というより、経験で捉えている。	
	⑤ 活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	9	2	1		敢えて固定化することがあるが、保護者への説明が足りず、共通理解となっていないよう。	面談の機会を増やし、保護者と丁寧にコミュニケーションを図っていきたい。
	⑥ 放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	10	2	0		近くの学童クラブと時々、交流行事を設けているが、日常的に公園や公共の施設で障害のない子どもと同じ場で遊ぶことが多い。また、家族ぐるみでの行事でのきょうだい児との交流がある。	宿泊行事にきょうだいと保護者の参加があると、きょうだいものびのびと活動を一緒に楽しんでくれ、良いムードメーカーになり、子ども達との自然な交流が持っているので、今後も継続していきたい。
保護者への説明等	⑦ 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	12	0	0			
	⑧ 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	9	3	0	どちら：担当する先生によって理解されていない場合あり。	連絡帳やお迎え時の引継ぎなどで共通理解を持つように努めている。	今年は、新採用も多く、現在共通理解できるよう取り組み中。
	⑨ 保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	9	3	0	どちら：育児の助言があるかというところともいえない。面談はある。	面談は行っている。傾聴を重視し、助言は慎重にしている。	
	⑩ 父母の会に活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	11	2	0		行事を父母会と共催したり、保護者同士の交流が進むよう懇談会を設けたりしている。	家庭の条件や障害特性の違う親が相互理解できる機会や支え合える関係が持てるような懇談会等を開催したい。
	⑪ 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	7	4	1		苦情窓口は、管理者と保護者代表の理事の名前を挙げ、その他の体制も重要事項説明書で周知し、迅速・適切に対応できるように努めているが、受け手にとっては感じ方が違っていた。	苦情になる前の小さな疑問の時に気軽に出示てもらえるように、目安箱、アンケートなど複数の受け皿を用意したい。第3者委員のの選任をした。
	⑫ 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	7	5	0	どちら：通所日外通所の連絡がぎりぎりなことが多いので、早めにお願したい。	プリント、メールや電話を必要に応じて使い分け、災害時のためにツイッターを準備。平日忙しい保護者のために土曜日保護者会を開催。	通所日外通所は、余裕がある時は早めに連絡をしている。今後も、早めに連絡したいが、迷うときはギリギリの判断になるをご理解いただきたい。
	⑬ 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	11	1	0		昨年は、HPがシステム上のトラブルで更新できなかったため、内部のみ報告。	今年は、保護者会でも報告し、HPで公開する予定。
	⑭ 個人情報に十分注意しているか	10	2	0			外出時に緊急連絡先を持ち出す際、紛失の危険があるので、方法や内容に十分気を付ける。
非常時等の対応	⑮ 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	11	1	0		先日行った防犯訓練で、防犯マニュアルを変更した。まだ保護者に周知していない。	大地震のマニュアルなども定期的に見直し、毎年初めの保護者会で確認したい。
	⑯ 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	12	0	0		毎月一回、地震・火災・津波・防犯・感染症などの訓練を実施している。	備蓄品の充実に取り組み中。
満足度	⑰ 子どもは通所を楽しみにしているか	12	0	0			
	⑱ 事業所の支援に満足しているか	8	3	1	いいえ（ちょっと）：送迎があればなあ～（夢ですけど）。運動になるのでこのままでも良いという思いも…。	家庭と施設間の送迎はできていない。必要な人は移動支援を利用してもらおうようにしているが、ヘルパーの確保が困難。	送迎以外の理由があるかどうかわからないので、面談などで聞き取りをしていきたい。

事業者向け 放課後等デイサービス自己評価表(こぴあクラブ)

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			今年度新しくクラブを立ち上げて分離をしたことにより十分なスペースが確保された。
	②	職員の配置数は適切であるか	○			手厚い配置を必要とする児童が多いため、経験や資格のある児童指導員を、引き続き基準以上に配置したい。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	○			知的、発達障害の子どもに対する配慮が行き届いていない。教材や玩具の配置など仕方を改善したい
業務改善	④	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか		○		常勤職員のみ参画しているので来年から年度初めに確認する。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			ホームページ上で公表予定
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		○		外部監事からの評価を業務改善に繋げている。第三者評価は来年度実施予定。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			
適切な 支援の 提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			「客観的」というより経験でとらえている。面談の機会を増やし更に保護者と丁寧なコミュニケーションを図っていききたい。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか		○		アセスメントツールの研修を全体で行った。来年度からは新入会の児童は言語聴覚士による発達検査を受けて丁寧なアセスメント心がけたい。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			週に1度は全職員でミーティングの機会を持つようにしている。
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			敢えて固定化していることがあるが保護者への説明が足りていない部分があるので面談の機会を増やす。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか		○		
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか			○	個々で記録や連絡帳に目を通すようにし、週に一度は全体でミーティングを行っている。
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか		○		書式の改善を検討中。
	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			年に二回のモニタリングを必ず行い、個別支援計画の見直しは複数で意見交換、検討するようにしている。
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	○			

事業者向け 放課後等デイサービス自己評価表(こぴあクラブ)

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか		○		会議までは開けていないことが多いが必要な内容は伝達するようにしている。
	㉑	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	○			引き継ぎ時に学校の先生から丁寧に話を聞く、必要があれば学校の先生と面談などの時間を設けている。
	㉒	医療的ケアが必要な子供を受入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか				現在は対象者がいない。
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか		○		必要に応じて行っている。
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	○			
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか		○		所長など一部に留まっているが参加している。
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	○			日常的に公園などで場を共有することが多い。近所の学童クラブとも年に3回ほど交流行事あり。行事にきょうだいの参加があると自然に交流が持っているので引き続き継続していきたい。
	㉗	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	○			児童部会と相談支援部会に所長が参加している。
	㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			お迎え時の引き継ぎ、連絡帳、メールや電話でのこまめなコミュニケーションを心掛けるようにしている。
	㉙	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	○			保護者会等でテーマを決めてそれぞれの経験を話し合うなど理解を深める場を設けている。
保護者への説明責任等	⑳	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			
	㉑	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか		○		面談は行っている。傾聴を重視し、助言は慎重にしている。
	㉒	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○			父母会から支援されている面がとても大きい。親同士の相互理解や支え合える関係が持てるような懇談会等を開催したい。
	㉓	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか		○		苦情窓口には管理者と保護者理事の名前を挙げて迅速・適切に対応できるように努めていたが、保護者側は感じ方が違っていった。目安箱やアンケートなど気軽に意見を出してもらいやすくする。第三者委員の選定を行った。

事業者向け 放課後等デイサービス自己評価表(こぴあクラブ)

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
保護者への説明責任等	③④	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			会報を年10回発行し、保護者会を年5回行い、事業所での児童の様子を保護者に伝えている。年間行事カレンダーや毎月の予定表も出していて、それを楽しみに見ている児童もいる。
	③⑤	個人情報に十分注意しているか		○		年度当初に会報やHPに写真を載せて良いかどうかなどの聞き取りを行っている。
	③⑥	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか		○		保護者会を平日と土曜日と2回開催するようにしている。一部受け入れの連絡が遅いとの指摘があり、ギリギリの判断になることを理解していただくようにする。
	③⑦	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか			○	法人全体で、区内だが少し離れた公園で行っている。
非常時等の対応	③⑧	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○			大地震のマニュアルなども定期的に見直し、毎年初めの保護者会で確認したい。
	③⑨	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			毎月一回、地震・火災・津波・防犯・感染症などの訓練を実施。備蓄品の充実に取り組み中。
	④⑩	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			日頃から支援について気軽に悩みや疑問を出し合える関係作りを大事にする研修を実施。
	④⑪	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○			保護者への説明をよりしっかりできるよう面談の機会を増やして丁寧に対応していく。
	④⑫	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○			医師の指示書はないが、保護者の伝えられた通りに対応している。
	④⑬	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			ヒヤリハットを書きやすい工夫をし、毎日の打ち合わせで共有している。